

鋼材の保管・運送に参入

3.5億円投じ坂出港に倉庫

港湾荷役の坂出郵船組（香川県坂出市）は鋼材の取り扱いに参入する。まず瀬戸内海に面し、工場団地とつながった坂出港（同）に約3億5千万円を投じて倉庫を新設する。鋼材供給の物流拠点として7月の稼働を目指す。坂出港や近隣の丸亀港（香川県丸亀市）周辺には鋼材を原料として使うメーカーの製造拠点が並び、事業領域を拡大して新規顧客を開拓する。



坂出郵船組が保有する倉庫は珍しいという。約2万平方メートルの用地に床面積約1600平方メートルの倉庫を建設。2月1日に起工、7月の完成を予定する。鋼管や厚板などの鋼材を扱い、収容能力は約5000トを見込む。屋内につり上げ荷重7・5トの天井クレーン2基、屋外には15トの橋形クレーンを設ける。鉄は屋外で野積み保管することも多く、四国の港で屋内収容できる倉

坂出港や近隣の丸亀港

には、川崎重工や今治造船などの製造拠点があ

炭なども取り扱いが減っ

同社は1889年に食改称した。倉庫や野積み

塩の荷役を主力事業とし

場などを坂出港や、丸亀

15年には新倉庫

予定地で手掛けていた原

木の取り扱いがなくな

組の社名だったが、日本